



北大 未来の科学者養成講座「最終研究発表会」の開催について (お知らせ)

開催概要：

本学が実施している JST 未来の科学者養成講座の第 2 期受講生（道内の高校生 10 名）による研究発表会を市民向けに開催いたします。

開催趣旨： 北大 未来の科学者養成講座 (<http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/activity/mirai>)において第 2 期受講生として活動した道内の高校生 10 名が、約 1 年間本学の研究室に通い、個々に設定したテーマについて研究を行った成果を、口頭およびポスターで発表します。

日 程： 2011 年 7 月 24 日（日） 開始時刻：13：00 / 終了時刻：16：00（予定）

場 所： 紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン（札幌市中央区北 5 条西 5-7）

主 催： 北海道大学 女性研究者支援室

参加対象・募集人数： どなたでも

参加費： 無料

言 語： 日本語

プログラム： 13：00～15：00 口頭発表＋質疑応答

15：00～15：40 ポスターセッション

15：40～ 受講生が選ぶ発表賞・受講修了証授与

申し込み： 不要

《その他》 未来の科学者養成講座第 3 期受講生を現在募集中です。詳細は未来 HP (<http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/activity/mirai>) をご覧ください。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学人材育成本部女性研究者支援室 担当：後藤^{ごとう}・中司^{なかつかさ}

TEL: 011-706-3625 FAX: 011-706-3692 E-mail: mirai@synfoster.hokudai.ac.jp

北海道大学未来の科学者養成講座

第2期生

最終研究発表会

北大で
10名の高校生が
本気で
研究をしました。

とき

7月**24**日(日)

13:00 ~ 16:30

ところ

紀伊國屋書店札幌本店

1F インナーガーデン


観覧無料・入退場自由



高校生が北大で研究できるチャンスだよ!

未来の科学者養成講座 2011年受講生募集

北海道大学で、未来の科学者を目指してみませんか？



北海道大学では、2009年よりスタートしたJST（独立行政法人科学技術振興機構）未来の科学者養成講座『北海道から世界と未来へ発信する環境科学～分子からフィールドまで～』の受講生（3期生）を募集します。北海道大学と、北海道の大地と自然を舞台に、道内の優秀な高校生の能力をさらに伸ばして、未来の科学者へ養成することを目的としたプログラムです。

緑豊かな北大キャンパスでの研究や実験、野外実習体験など、盛りだくさんの内容が貴方をお待ちしています。

理系進学を目指している方も進路選択に迷っている方も、是非このプログラムで科学に触れるチャンスを活かしてください。

【募集要項】

対象

道内の高校1年生（活動期間に十分活動できる方は、他学年でも応募可能です）



応募条件

7月2日、9日、16日のうちいずれかの野外実習＆科学ディスカッションに参加できる方、および約1年間の継続的プログラムに参加可能な方。（野外実習＆科学ディスカッションに参加できない方は別途レポートを提出していただきます。詳しくは下記記載の『応募方法』をご覧ください。）

野外実習＆科学ディスカッションに関する案内は裏表紙に掲載されています。

受講期間

9月～翌年8月

3期生募集人数

アドバンストコース：個別研究活動＋合同プログラム参加コース 10名程度

スタディコース：合同プログラムのみ参加コース 10名程度

※ 合同プログラムとは…フィールド実習＋勉強会

費用

参加費用はかかりません。（ただし、初回の野外実習＆科学ディスカッション時の交通費は自己負担となります。）

また、個別研究活動で研究室へ通学する際の交通費（実費）や、宿泊を伴う場合には旅費を支給いたします。

（場合によっては一部自己負担のこともあります）

応募締切

2011年7月25日（月） 当日消印有効

応募方法

下記の提出書類をそろえて郵送（配達記録）にて北海道大学女性研究者支援室までお送りください。

《野外実習＆科学ディスカッションに参加できる方》

1. 【応募用紙】 氏名、学校名、連絡先などを記入し、保護者の署名を添えてください。

《野外実習＆科学ディスカッションに参加できない方》

1. 【応募用紙】 氏名、学校名、連絡先などを記入し、保護者の署名を添えてください。
2. 【小論文】 「なぜ本プログラムに参加したいのか」、「身の回りの環境で不思議だと思うこと、勉強したいと思うこと」等のテーマについて、800字程度で記入してください。その他、科学イベントへの参加などアピールできるものがあれば添付してください。（用紙・形式は自由です）

選考方法

書類審査、面接（野外実習＆科学ディスカッション参加を含む）

選考結果発表

8月6日ごろに書面にてご連絡申し上げます。

応募書類送付先

〒060-0808

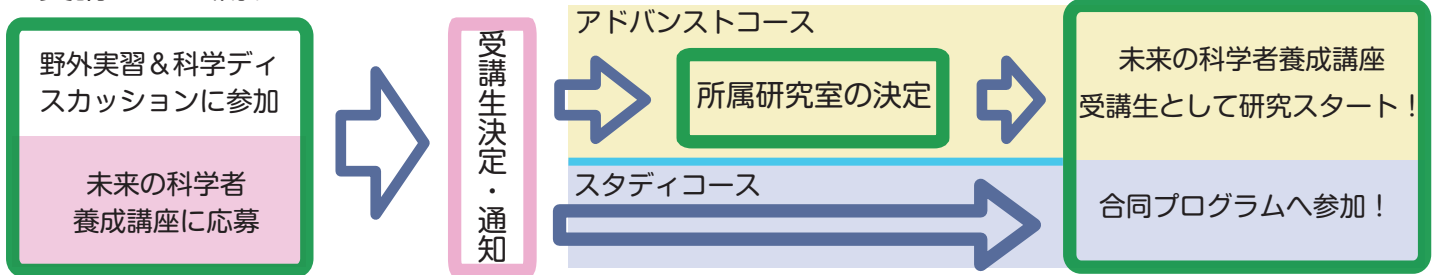
札幌市北区北8条西5丁目

北海道大学 女性研究者支援室 「未来の科学者養成講座」係



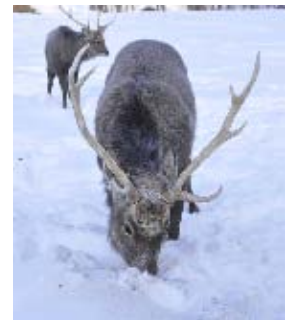
【年間スケジュール（予定）】

・受講までの流れ



・日程

7/2(土)	野外実習 & 科学ディスカッション@北大函館キャンパス
7/9(土)	野外実習 & 科学ディスカッション@北大札幌キャンパス
7/16(土)	野外実習 & 科学ディスカッション@北大札幌キャンパス
7/25(月)	未来の科学者養成講座・受講応募メシ
8/6(土)	結果発表
9/1(水)~	研究室配属スタート! (配属先は「札幌キャンパス」と「函館キャンパス・七飯実験所」の9研究室)
秋・冬2回	フィールド実習
通年(計5回)	勉強会
H24年7月末	最終研究発表会



【研究室紹介】

札幌キャンパス

西村 裕一 (にしむら ゆういち) 助教
大学院理学研究院 地震火山研究観測センター 海底地震研究分野
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/grp/obs/lobs/>
全国の大学で北海道大学にしかない海底下に起きる地震の研究を行っている施設です。日本は地震や噴火が盛んですが、発生の原因は海底にあるプレートの動きです。私たちはそのメカニズムの解明を行っています。

Derek Goto (後藤 デレック) 特任助教
北大基礎融合科学領域リーダー育成システム 創成研究機構
http://gotolab.cris.hokudai.ac.jp/main/Derek_Goto_Lab.html
私達の研究室では植物に寄生するネコブセンチュウという生物についての研究をおこなっています。ネコブセンチュウはあらゆる種類の作物に感染するため世界の農業に大きな被害を与えています。このネコブセンチュウの感染を効率的に防ぐためにはその感染メカニズムを解明する必要があります。私達の研究室ではネコブセンチュウの感染メカニズムを分子レベルで解明することを目指しています。

俎俎 和夫 (そらい かずお) 助教
理学部物理学科 物理学分野 理論系 宇宙物理研究室
<http://astro3.sci.hokudai.ac.jp/>
宇宙からやってくる様々な電磁波を国内外の望遠鏡・電波望遠鏡を使ってキャッチし、それらを解析することにより、遠い宇宙の銀河や恒星などを観測しています。

本村 泰三 (もとむら たいぞう) 教授
北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション 室蘭臨海実験所
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/~motomura/kaisou/home.html>
陸の植物は緑色ですが、海の中ではコンブやワカメなどの黄色の植物が主役です。藻は生物進化を考える上でも環境問題を考える上でも重要な植物です。私達は海藻の細胞や発生過程について主に電子顕微鏡を用いて観察を進めています。

都木 靖彰 (たかぎ やすあき) 教授
大学院水産科学研究院 海洋応用生命科学部門 増殖生物学分野
<http://www2.fish.hokudai.ac.jp/modules/labo/content0048.html>
海の世界と、海に生きる生物の研究をする専門家集団です！魚貝類や海藻の生態や、魚が水の中で生きてゆく仕組みなど、私たちはさまざまな視点から研究を進めています。

相馬 雅代 (そうま まさよ) 准教授
大学院理学研究院 生物科学部門
<http://www.sci.hokudai.ac.jp/bio/teacher/t-0503.php>
私達ヒトを含む多くの動物は、社会の中に生きており、個体間で様々な情報のやりとりがなされています。特に鳥類は、つがい・親子・兄弟などの個体間における視聴覚コミュニケーションが重要な役割を果たしています。このような行動の機能と意義を解明することで、コミュニケーション行動の基盤となる認知能力の進化を研究しています。

貴島 祐治 (きじま ゆうじ) 教授
大学院農学研究院 応用生命科学部門 育種工学分野
<http://www.agr.hokudai.ac.jp/ikushu/02.html>
植物育種学研究室は作物の品種改良に関わる研究を行うことが求められている研究室で、私たちは次の5つの問題に取り組んでいます。稲や金魚草を用いて品種改良に必要な遺伝変異はどのようにもたらされるのか？寒さに強い稲を作るには？病気に強い稲とは？稲の花はどのように形作られるのか？雑種はどうしてつよいのか？これらの問題に正解を示すことは難しいのですが、地道に問題の核心を狙って研究を進めています。

田中 歩 (たなか あゆみ) 教授
低温科学研究所 生物適応機構学研究室
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/plantadapt/labo.html>
光合成は光エネルギーを利用して、糖を合成し、酵素を発生します。このような光合成は、地球上の生命活動を支えるだけでなく、私達に食料を供給し、さらに地球環境の維持にも極めて重要な役割を担っています。私達の研究室では、光合成の中心的な役割を担う"クロロフィル"という小さな分子を通じて、光合成生物の環境適応や、進化、農学的応用に取り組んでいます。

山羽 悦郎 (やまは えつろう) 教授
北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション 七飯淡水実験所
<http://www.hokudai.ac.jp/fsc/nanae/nanae.html>
動物は、一つの受精卵から個体を作り出していきます。この過程は、個体発生と呼ばれ、この実験所では個体発生を理解するために卵の一部分を切り取ったり、移植したり、卵にいろいろな物質を注入したりして魚のからだ作りの研究をしています。

未来の科学者養成講座 応募の第一歩は野外実習&科学ディスカッションから！

受講希望の皆さんへ・・・

下記3日間のうち、いずれかの野外実習&科学ディスカッションに、できるだけご参加ください。

<野外実習&科学ディスカッション開催日程> ※雨天決行

- 日にち：7月2日（土）
場 所：北海道大学函館キャンパス
函館市港町1丁目（参加費無料）
集合時間・場所：13時 北大函館キャンパス正門
持ちもの：筆記用具、汚れても良い服装
- 日にち：7月9日（土）
- 日にち：7月16日（土）
場 所：北海道大学札幌キャンパス
集合時間・場所：13時 北大正門横「エルムの森」前
持ちもの：筆記用具、汚れても良い服装



※野外実習&科学ディスカッション参加時の交通費（ご自宅から集合場所までの往復）は自己負担となります。

※所要時間は約3時間を予定しています。

いずれの集合場所にも支援室スタッフが目印を持ってお待ちしております！



開催決定！

7月24日（日）13時～16時 紀伊国屋札幌本店 1階インナーガーデン
2期生による最終研究発表会が開催されます。先輩たちの勇姿をぜひ見に来てください！

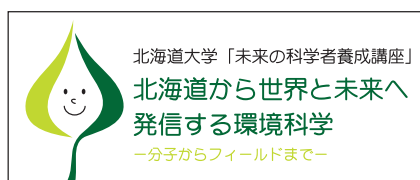
このプログラムに関するお問い合わせは、
北海道大学 女性研究者支援室 「未来の科学者養成講座」係
電話：011-706-3625 FAX：011-706-3692

e-mail: mirai@synfoster.hokudai.ac.jp

ホームページでも募集情報を公開しています。 <http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/activity/mirai>



北海道大学 女性研究者支援室
Support Office for Female Researchers
in Hokkaido University



未来の科学者養成講座

『北海道から世界と未来へ発信する環境科学－分子からフィールドまで－』

応募用紙

記入日： 年 月 日

フリガナ 氏 名			
生年月日		性 別	
住 所	〒		
電話番号		メール アドレス	
フリガナ 保護者氏名			
保護者住所	〒		
保護者電話番号			
緊急連絡先			
学校名		学 年	
担任教諭			
希望コース(どれかに○)	1. アドバンスコース 2. スタディコース 3. アドバンスコースが希望だがスタディコースになっても良い		
興味のある分野(○は複数可)	1. 物理 2. 生物 3. 化学 4. 地学 5. その他()		
フィールドアドベンチャー参加希望日	1. 7/2(土)・函館 2. 7/9(土)・札幌 3. 7/16(土)・札幌		
興味のある研究室(○は複数可)	1. 西村先生 2. Derek 先生 3. 徂徠先生 4. 本村先生 5. 都木先生 6. 相馬先生 7. 貴島先生 8. 田中先生 9. 山羽先生		

※ メールアドレス：お持ちの場合、ご記入ください。

※ 緊急連絡先：保護者の方の携帯電話や職場等、連絡の取れる番号をご記入ください。

未来の科学者養成講座
『北海道から世界と未来へ発信する環境科学－分子からフィールドまで－』

保護者承諾書

(生徒氏名) _____ が

未来の科学者養成講座『北海道から世界と未来へ発信する環境科学－分子からフィールドまで－』に参加することを承諾します。

年 月 日

保護者氏名 _____ 印